

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 木場川と田代川に囲まれた中山間地域。集落全体が急傾斜地であり、大型圃場が少ない。
- 高齢化(地区農家の平均年齢70歳以上)による労働力不足、それに伴う農地の荒廃防止が重要課題。

【支援内容・背景】

- 急傾斜の圃場条件の中での労働力不足、農地の荒廃といった課題に対応し、作業効率化に資する農業機械の導入や、新規作物に対する支援を推進。
- 助成対象者は、個人経営で耕作できなくなった場合に、水利が悪かったり圃場の形が歪や狭小等の条件の厳しい農地も含めて、農地中間管理機構を活用し借り受け、農地の荒廃を防止している。活動内容は地域農業の在り方と軌を一にするものであり、当法人への補助は地域農業の振興に直結するものである。



助成対象者「(農)長溪の風御厨木場」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成29年 中山間地域等直接支払交付金を活用している共同活動組織を母体に、構成員35名により法人設立
- 平成29年 ブロッコリー栽培開始
- 平成29年 経営改善計画認定
- 労働力確保のため、収益性が高く、かつ、通年雇用につながる作物を模索し、新規作物の試行に鋭意取り組んでいる

《事業活用の背景》

- 天候にも依存し時期の限られる定植作業について、移植機の導入により作業時間を短縮し、もって更なる経営面積の拡大(荒廃農地防止)を図る。

【事業実施時の状況】  
〈R2年度〉

- 経営面積  
ブロッコリー3.4ha  
なつほのか1.4ha

《事業による整備内容》

- ブロッコリー移植機 1台  
事業費924千円  
(国費280千円)



【現在の経営状況】  
〈R4年度〉

- 経営面積  
ブロッコリー5.0ha (147%)  
なつほのか1.9ha (136%)

事業の  
効果

《対象者》 限られた適期に作業の集中する定植の作業時間短縮により、面積拡大が可能となった。  
《地区》 地区農地の中で特に条件の厳しい農地の荒廃防止に貢献した。

